

平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クロニクル
 コード番号 9822 URL <http://www.chronicle-net.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 天野 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 久保田 峰夫

TEL 03-5771-1200

四半期報告書提出予定日 平成23年5月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	1,547	△13.0	△359	—	△352	—	△415	—
22年9月期第2四半期	1,779	0.4	△334	—	△296	—	△261	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	△8.73	—
22年9月期第2四半期	△0.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	4,974	4,678	94.0	95.54
22年9月期	5,291	4,968	93.8	11.10

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 4,678百万円 22年9月期 4,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年9月期	—	0.00	—	—	—
23年9月期 (予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	△14.5	△600	—	△600	—	△650	—	△13.66

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年9月期2Q | 48,969,237株 | 22年9月期 | 447,692,131株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年9月期2Q | 1,645株 | 22年9月期 | 16,251株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年9月期2Q | 47,567,581株 | 22年9月期2Q | 447,675,980株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。
なお、上記予想に関する事項は【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。
- 平成22年12月22日開催の定時株主総会において、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行うことが承認可決され、平成23年2月28日付で当該株式併合が行われております。なお、「3. 平成23年9月期の連結業績予想」の1株当たり当期純利益は、当該株式併合の影響を考慮しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(第2四半期連結会計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	15

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、政府経済対策による下支えやアジア向けを中心とした輸出の増加等により緩やかな回復も見られましたが、雇用環境及び所得環境は依然として低調な状態にあり、さらに、3月11日に発生した東日本大震災及びこれに起因する福島第一原発事故の影響により、先行きが見通せない状況にあります。

このような状況の下、現在における当社グループの事業は、株式会社クロニクル及び第1四半期連結会計期間より新たに子会社となった株式会社クリエイト24による投資事業、株式会社アメイジングバリューによるリセール・オークション事業及び株式会社ドゥーズによる正規品販売事業として業態の住み分けを明確にした宝飾品事業、株式会社エーディーアンドディー及び株式会社ビジネスアルファ24並びに第1四半期連結会計期間より新たに子会社となった株式会社エフ・データクリエイションによるWEB情報事業、さらに、前第4四半期より新たな事業としてスタートいたしました株式会社アメイジングバリューによるリサイクル事業、同社及び第1四半期連結会計期間より新たに関連会社となった株式会社ベルモアカフェによる流通サービス関連事業により展開しております。

当第2四半期連結会計期間における当社及び当社グループ全体の売上高は721百万円（前第2四半期連結会計期間は829百万円で前第2四半期連結会計期間比13.0%減）に止まり、経済環境の低迷等による影響を受ける厳しい状況が続いております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝飾品部門]

利益率向上を目的とし、高級輸入時計を中心とする、リセール・オークション事業や国内における小売営業展開を積極的に行い、シェア拡大・向上に務めておりますが、売上高は222百万円（前第2四半期連結会計期間は179百万円で前第2四半期連結会計期間比24.2%増）に止まり、現在の経済環境等による影響のもと、厳しい事業展開を余儀なくされた結果となっております。

[投資部門]

昨今の経済事情を鑑み、慎重に資金運用した結果、売上高は1百万円（前第2四半期連結会計期間は27百万円で前第2四半期連結会計期間比95.3%減）となりました。

[WEB情報部門]

結婚情報サイト「ピュア・アイ」の運営、WEB広告や通信販売事業等を積極的に展開した結果及び第1四半期連結会計期間より新たな子会社1社が同事業に参入した結果、売上高は405百万円（前第2四半期連結会計期間は622百万円で前第2四半期連結会計期間比34.9%減）となりました。

[リサイクル事業部門]

当社の中心事業である宝飾品販売のノウハウを生かし、金やプラチナを中心とした貴金属等の買取りサイクルブランド「黄金市場」を立ち上げ、「売る」から「買う」ビジネスモデルとして事業展開を行っております。当社グループの高額商品を取扱う中で培ってきた接客スキルとノウハウを他業種で活用する新たなビジネス展開を立ち上げており、当第2四半期連結会計期間の売上高は1百万円となっております。

なお、当該事業は前第4四半期より開始しております新規事業となるため前年同期比較は行っておりません。

[流通サービス関連事業部門]

対象業種として当面は軽飲食サービスに限定するものの、当該軽飲食サービスへの収益性の高いコンサルティング業務、業務受託形態の事業展開を積極的に展開した結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は91百万円となりました。

なお、当該事業は前第4四半期より開始しております新規事業となるため前年同期比較は行っておりません。

以上の結果、売上高におきましては721百万円（前第2四半期連結会計期間は829百万円で前第2四半期連結会計期間比13.0%減）、営業損失におきましては、のれんの償却費41百万円等の計上により△144百万円（前第2四半期連結会計期間は営業損失△152百万円）となりました。

経常損失におきましては、為替差益13百万円等による営業外収益21百万円の計上により△123百万円（前第2四半期連結会計期間は経常損失△131百万円）となりました。

四半期純損失におきましては、貸倒引当金戻入額2百万円等による特別利益及び減損損失2百万円による特別損失の計上により△124百万円（前第2四半期連結会計期間は四半期純損失△104百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて317百万円減少し、4,974百万円となりました。

資産減少の主な内容は、現金及び預金の減少額287百万円及び貸倒引当金の増加額45百万円等に伴う減少であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて27百万円減少し、295百万円となりました。

負債増加の主な原因は、買掛金の減少額37百万円及び長期借入金の増加額16百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて290百万円減少し、4,678百万円となりました。

純資産減少の主な原因は、四半期純損失△415百万円の計上と平成22年12月3日を効力発生日とする㈱エフ・データークリエーション及び㈱クリエイト21(現：㈱クリエイト24)との株式交換に基づくその他資本剰余金の増加額126百万円によるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ146百万円減少し、252百万円となりました(前第2四半期連結会計期間末は399百万円で前第2四半期連結会計期間末比36.8%減)。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は、前第2四半期連結会計期間に比べ129百万円(970.5%増)増加し、143百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失△122百万円の計上、たな卸資産の減少額85百万円、仕入債務の減少額△64百万円、未払金の減少額△62百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、前第2四半期連結会計期間に比べ39百万円(前第2四半期連結会計期間は増加額25百万円)増加し、14百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出△1百万円及び貸付による支出△8百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は、前第2四半期連結会計期間に比べ0百万円(前第2四半期連結会計期間は使用額0百万円)増加し、0百万円となりました。

これは主に、借入れによる収入1百万円及び借入金の返済による支出△0百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降も厳しい状況が続くものと予想されます。

これにより本日別途開示致しました「平成23年9月期第2四半期連結累計期間(連結)の実績値と業績予想との差異及び通期(連結)の業績予想の修正について」にてお知らせ致しましたとおり、平成22年11月15日の業績予想で発表しました業績予想に修正を行うことと致します。

「宝飾品事業」

宝飾品事業におきましては、第2四半期連結累計期間までと同様に厳しい状況となると考えられ、当面は大きく業績の回復を行うことは難しいと考えております。

同事業におきましては、今後の取扱商品の見直し及び販売チャンネルの変更等を行うことにより売上高は当初の予想数値925百万円を610百万円に下方修正が必要と判断致しました。

「投資事業」

投資事業につきましては、当初の予想数値である80百万円を50百万円に下方修正が必要と判断致しました。

「WEB情報事業」

WEB情報事業におきましては、「WEB情報ビジネス」と「WEB通販」による物販ビジネスの2本柱による構成となるものの、「WEB情報ビジネス」の売上高減少が要因で、売上高におきましては当初の予想値2,550百万円を1,900百万円に下方修正することが必要と判断致しました。

「流通サービス関連事業」

流通サービス関連事業におきましては、東日本全体の夏場の電力供給不足が予想され、新たな計画停電等があった場合、取引先となる遊技場の営業時間短縮や休業による売上減少が懸念されるため厳しい状況が続くものと予想され、売上高におきましては当初の予想値710百万円を400百万円に下方修正することが必要と判断致しました。

「リサイクル事業」

リサイクル事業におきましては、フランチャイズ計画の見直しが必要となるため当初予想を下回る事が予想されます。

売上高におきましては当初の予想値185百万円を40百万円に下方修正することが必要と判断致しました。

以上が通期連結における売上高の修正理由であります。第2四半期連結累計期間における各事業の利益率の低下が下期も続く予想され各利益への影響も加味したことが業績予想の修正に至った大きな理由であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

固定資産に係る減価償却費のうち定率法により算定するものについては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成19年9月期に△1,638百万円、平成20年9月期に△500百万円、平成21年9月期に△113百万円と3期連続して営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスの状況が続いております。

また、平成19年9月期に△160百万円、平成20年9月期に△280百万円、平成21年9月期に△656百万円、前連結会計年度である平成22年9月期に△648百万円と4期連続して営業損失を計上しており、平成19年9月期に△1,229百万円、平成20年9月期に△1,334百万円、平成21年9月期に△2,389百万円、前連結会計年度である平成22年9月期に△893百万円と大幅な当期純損失を計上しております。

これにより、当社グループには将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

さらに、当第2四半期連結会計期間においても営業キャッシュ・フローについて△143百万円のマイナスの状況が発生しており、また、営業損失△144百万円の計上、また、減損損失2百万円の計上等により四半期純損失△124百万円を計上しており、依然として将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべくWEB情報事業の拡大及びM&Aや事業譲受等の事業拡大・強化の計画により売上高と利益率の向上を図っております。

具体的な施策としましては、WEB情報事業の新規情報配信コンテンツの立ち上げやWEB広告、WEB通販の拡大による新たな顧客層の獲得、販路の拡大、また、今後想定しております収益性を重視したM&A等による事業拡大により、売上及び収益の拡大を見込んでおります。

今後は関係会社の拡大・安定した収益の取り込みによる増収増益及び海外リセール・オークション事業の再開及びWEB販売により新たな顧客層の獲得による宝飾品事業の回復安定化を行ってまいります。

上記の諸策により、売上高及び利益の増加を見込んでおり、重要な不確実性は認められません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	252,558	540,378
売掛金	320,742	284,201
営業投資有価証券	58,831	61,866
営業出資金	924,710	895,392
営業貸付金	308,000	308,000
商品	834,865	940,029
繰延税金資産	19,312	19,066
その他	65,707	67,639
貸倒引当金	△63,877	△69,296
流動資産合計	2,720,849	3,047,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,103	57,103
減価償却累計額	△13,958	△13,371
減損損失累計額	△9,712	△9,712
建物及び構築物(純額)	33,431	34,018
工具、器具及び備品	79,556	76,259
減価償却累計額	△62,993	△61,339
減損損失累計額	△11,331	△9,970
工具、器具及び備品(純額)	5,231	4,948
車両運搬具	8,374	4,830
減価償却累計額	△3,962	△2,570
減損損失累計額	△2,259	△2,259
車両運搬具(純額)	2,151	0
土地	75,445	75,445
有形固定資産合計	116,260	114,413
無形固定資産		
のれん	1,848,242	1,814,491
その他	62,421	39,200
無形固定資産合計	1,910,664	1,853,692
投資その他の資産		
投資有価証券	37,719	37,719
長期未収入金	91,004	94,579
破産更生債権等	1,092,840	1,098,514
長期貸付金	23,691	13,799
繰延税金資産	12,508	14,922
その他	113,558	110,668
貸倒引当金	△1,144,947	△1,093,845

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
投資その他の資産合計	226,374	276,358
固定資産合計	2,253,299	2,244,464
資産合計	4,974,149	5,291,741
負債の部		
流動負債		
買掛金	92,006	129,727
短期借入金	10,416	—
未払金	84,169	81,593
未払法人税等	16,816	29,046
賞与引当金	3,512	3,424
その他	62,417	69,589
流動負債合計	269,339	313,381
固定負債		
長期借入金	16,160	—
退職給付引当金	7,719	7,456
その他	2,754	2,647
固定負債合計	26,633	10,104
負債合計	295,973	323,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,461,500
資本剰余金	1,076,598	5,218,220
利益剰余金	△1,395,158	△5,708,882
自己株式	△524	△524
株主資本合計	4,680,915	4,970,313
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,739	△2,057
評価・換算差額等合計	△2,739	△2,057
純資産合計	4,678,175	4,968,256
負債純資産合計	4,974,149	5,291,741

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	1,779,100	1,547,505
売上原価	727,408	808,055
売上総利益	1,051,692	739,450
販売費及び一般管理費	1,385,712	1,098,978
営業損失(△)	△334,019	△359,528
営業外収益		
受取利息	2,066	601
受取配当金	387	1,009
有価証券売却益	12	—
為替差益	23,888	—
債務戻入益	9,968	5,560
受取家賃	4,664	5,064
雑収入	574	2,499
営業外収益合計	41,561	14,734
営業外費用		
支払利息	118	86
支払保証料	—	65
為替差損	—	5,962
貸倒引当金繰入額	1,885	—
貸倒損失	1,531	—
持分法による投資損失	—	1,200
雑損失	310	—
営業外費用合計	3,845	7,314
経常損失(△)	△296,303	△352,107
特別利益		
有価証券売却益	6,495	—
貸倒引当金戻入額	22,528	12,847
賞与引当金戻入額	10,117	—
受取補償金	2,100	—
その他	—	952
特別利益合計	41,241	13,799
特別損失		
減損損失	4,204	2,358
商品廃棄損	—	29,627
訴訟和解金	—	12,000
株主名簿引継手数料	—	25,948
特別損失合計	4,204	69,934
税金等調整前四半期純損失(△)	△259,267	△408,242
法人税、住民税及び事業税	4,990	4,540
過年度法人税等	53	447
法人税等調整額	△2,345	2,168
法人税等合計	2,699	7,156
四半期純損失(△)	△261,967	△415,399

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	829,646	721,672
売上原価	333,104	400,380
売上総利益	496,542	321,292
販売費及び一般管理費	648,559	466,127
営業損失(△)	△152,017	△144,835
営業外収益		
受取利息	1,065	157
受取配当金	10	15
為替差益	7,989	13,951
債務戻入益	9,968	2,489
受取家賃	2,532	2,532
雑収入	539	2,491
営業外収益合計	22,105	21,636
営業外費用		
支払利息	—	4
支払保証料	—	32
貸倒引当金繰入額	1,144	—
雑損失	310	—
営業外費用合計	1,454	37
経常損失(△)	△131,366	△123,236
特別利益		
有価証券売却益	6,495	—
貸倒引当金戻入額	9,193	2,308
賞与引当金戻入額	15,454	—
受取補償金	100	—
その他	—	1,134
特別利益合計	31,243	3,443
特別損失		
減損損失	—	2,358
特別損失合計	—	2,358
税金等調整前四半期純損失(△)	△100,123	△122,151
法人税、住民税及び事業税	4,968	△867
過年度法人税等	53	—
法人税等調整額	△428	2,911
法人税等合計	4,594	2,043
四半期純損失(△)	△104,717	△124,194

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△259,267	△408,242
減価償却費	30,851	9,244
減損損失	4,204	2,358
のれん償却額	91,093	81,195
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,300	45,608
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,837	88
退職給付引当金の増減額(△は減少)	362	262
受取利息及び受取配当金	△2,453	△1,610
支払利息	118	86
為替差損益(△は益)	△114	△8
その他の特別損益(△は益)	—	△952
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	25,634	3,035
営業出資金の増減額(△は増加)	—	△30,000
持分法による投資損益(△は益)	—	1,200
売上債権の増減額(△は増加)	47,341	△25,372
たな卸資産の増減額(△は増加)	50,445	105,163
仕入債務の増減額(△は減少)	6,228	△42,363
未収入金の増減額(△は増加)	△18,412	4,191
その他の資産の増減額(△は増加)	38	10,535
未払金の増減額(△は減少)	△31,613	1,286
その他の負債の増減額(△は減少)	△36,878	△10,616
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△2,798	5,674
小計	△128,358	△249,234
利息及び配当金の受取額	2,286	1,411
利息の支払額	△118	△86
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	12,779	△16,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	△113,410	△264,370
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,988	△3,099
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,914
貸付けによる支出	△35,000	△27,412
貸付金の回収による収入	36,593	17,407
その他の支出	△11,064	△11,918
定期預金の預入による支出	△7	—
定期預金の払戻による収入	10,078	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1,550	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	3,502
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,938	△25,434

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	—	3,070
借入金の返済による支出	—	△1,094
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	1,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	114	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△118,234	△287,820
現金及び現金同等物の期首残高	517,689	540,378
現金及び現金同等物の四半期末残高	399,454	252,558

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）

	宝飾品 事業 (千円)	投資 事業 (千円)	WEB情報事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	179,190	27,742	622,714	—	829,646	—	829,646
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,325	3,940	12,603	1,890	20,758	△20,758	—
計	181,515	31,682	635,317	1,890	850,405	△20,758	829,646
営業利益又は営業 損失(△)	△41,195	△111,277	15,904	△24,696	△161,264	9,247	△152,017

前第2四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成22年3月31日）

	宝飾品 事業 (千円)	投資 事業 (千円)	WEB情報事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	381,615	61,926	1,335,558	—	1,779,100	—	1,779,100
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	7,254	7,980	26,981	6,420	48,635	△48,635	—
計	388,869	69,906	1,362,540	6,420	1,827,736	△48,635	1,779,100
営業利益又は営業 損失(△)	△100,119	△172,955	4,834	△37,919	△306,160	△27,859	△334,019

(注)

1. 事業区分の方法

事業は、宝飾品事業、投資事業、WEB情報事業、その他事業にて区分しております。

2. 各区分に属する主要な商品

事業区分	主要商品
宝飾品事業	宝飾品（高級輸入時計、宝石類）等
投資事業	営業投資有価証券、匿名組合投資等
WEB情報事業	WEB情報サイト運営、広告等
その他事業	マネージメント料等

3. 会計処理の方法の変更

前第2四半期連結累計期間

該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成22年3月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至平成22年3月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当第2四半期連結累計期間（自平成22年10月1日 至平成23年3月31日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成23年1月1日 至平成23年3月31日）

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループは、複数の事業を行っており、当該事業により包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社及び当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「宝飾品事業」、「投資事業」、「WEB情報事業」及び「流通サービス関連事業」並びに「リサイクル事業」の5事業を報告セグメントとしております。

「宝飾品事業」は、主に、正規高級輸入時計の販売（卸売及び小売）及びリセール商品取扱等であり
ます。

（正規品）

当社子会社である㈱ドゥーズが正規取扱店となっている海外高級腕時計を国内において小売及び卸売販売をしております。

（リセール）

当社子会社である㈱アメイジングバリューが国内外市場に対して宝飾品、特に高級腕時計を中心に販売を行っております。国内外・リセール・オークションをキーワードに販売しております。

「投資事業」は、法人向内容にて安全かつ確実なる投資案件に対し、出資を行っております。

「WEB情報事業」は、結婚情報サイト、競馬情報サイト、WEB広告、WEB通販等を中心に営業活動を行っております。

「流通サービス関連事業」は、軽飲食サービスへのコンサルティング業務、業務受託形態の事業展開を行っております。

「リサイクル事業」は、金、プラチナを中心としたリサイクルブランド「黄金市場」の運営、フランチャイズ展開を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル 事業	
売上高						
外部顧客への 売上高	387,458	7,977	925,729	191,223	35,117	1,547,505
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	15,253	22,128	2,868	—	—	40,249
計	402,711	30,105	928,597	191,223	35,117	1,587,755
セグメント利益 又は損失(△)	△49,518	△181,243	15,403	△17,285	△9,808	△242,452

当第2四半期連結会計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル 事業	
売上高						
外部顧客への 売上高	222,525	1,301	405,685	91,101	1,057	721,672
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	13,773	13,108	2,152	—	—	29,033
計	236,299	14,409	407,837	91,101	1,057	750,706
セグメント利益 又は損失(△)	△15,495	△76,856	△20,999	△9,465	△10,385	△133,203

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△242,452
セグメント間取引消去	△832
のれん償却額	△81,195
棚卸資産の調整額	△381
貸倒引当金の調整額	△35,931
減価償却費の調整額	1,266
四半期連結損益計算書の営業損失	△359,528

当第2四半期連結会計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△133,203
セグメント間取引消去	△255
のれん償却額	△42,187
棚卸資産の調整額	△375
貸倒引当金の調整額	29,285
減価償却費の調整額	1,901
四半期連結損益計算書の営業損失	△144,835

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）

（固定資産に係る重要な減損損失）

「宝飾品事業」セグメントにおける事業用資産である「工具器具及び備品」、また、「投資事業」セグメントにおける事業用資産である「工具器具及び備品」及び「ソフトウェア」について、当該各事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、当第2四半期連結会計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、「宝飾品事業」セグメント「工具器具及び備品」に係る減損損失の額は894千円、また、「投資事業」セグメントにおける「工具器具及び備品」に係る減損損失の額は466千円、「ソフトウェア」に係る減損損失の額は998千円であります。

また、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結会計期間においては2,358千円であります。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結会計期間末（平成23年3月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成22年10月1日 至平成23年3月31日）

当社は、平成22年12月3日を効力発生日とする㈱エフ・データクリエイション及び㈱クリエイト21（現：㈱クリエイト24）との株式交換に基づき、㈱エフ・データクリエイションの株主に対し当社株式22,000,000株及び㈱クリエイト21（現：㈱クリエイト24）の株主に対し当社株式20,000,240株の合計42,000,240株の新株を発行しており、これにより資本剰余金が126,000千円増加しております。

また、平成23年2月28日付で会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金461,500千円及び資本準備金3,671,499千円を減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金のうち4,729,122千円を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が461,500千円、資本準備金が3,671,499千円、その他資本剰余金が470,122千円それぞれ減少し、その他利益剰余金が4,729,122千円増加し、第2四半期連結会計期間末において資本金が5,000,000千円、資本準備金が一千円、その他資本剰余金が948,892千円、その他利益剰余金が△241,057千円となっております。